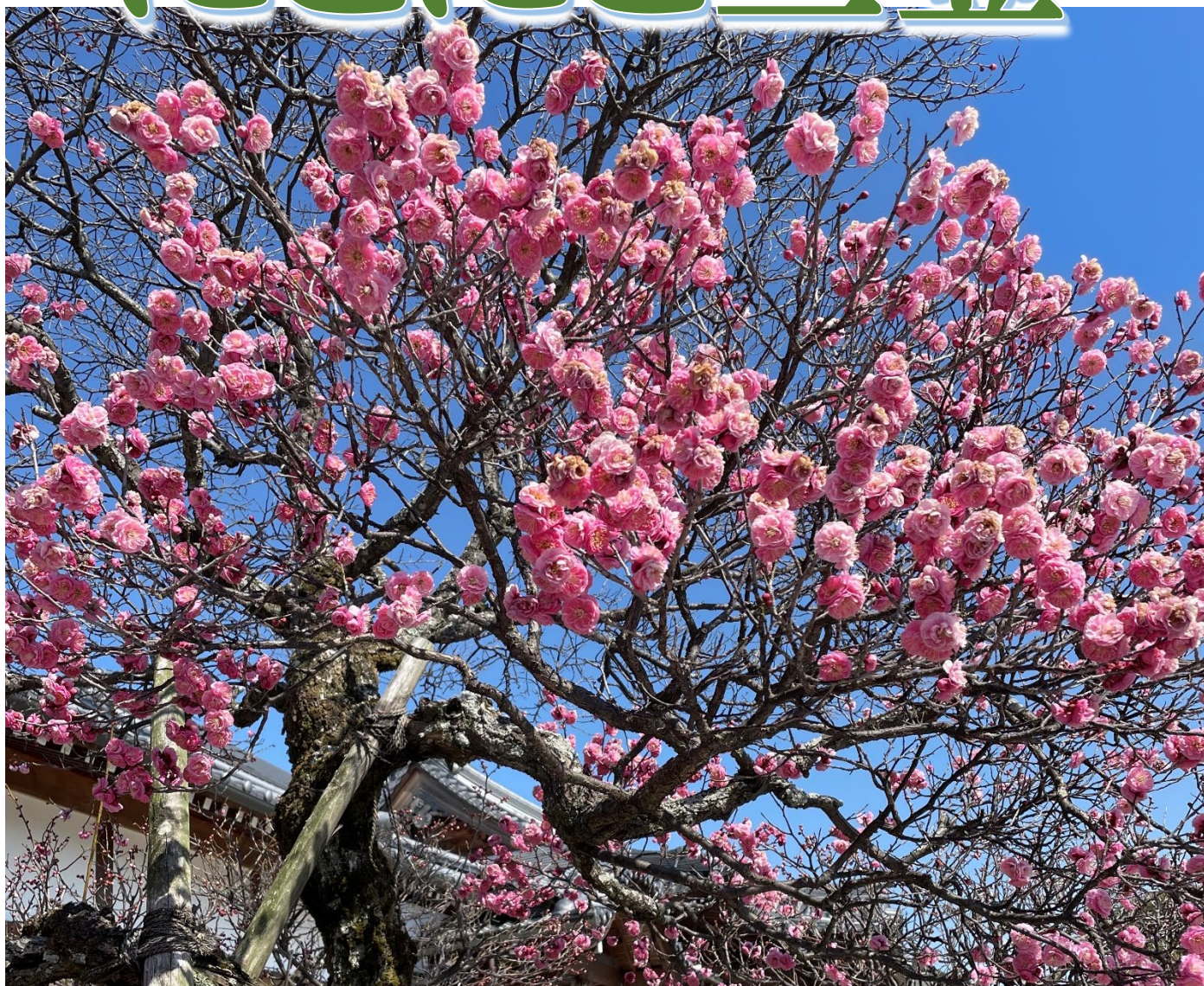


にこにこ三豊



撮影者 豊嶋

三豊市豊中町延命院 紅梅

令和 6 年 10 月～令和 7 年 1 月の活動実績

	介護保険					まごころ ケアサービス		障がい 自立支援	地域生活 支援	福祉輸送	
	居宅 介護 支援	訪問介護		デイサービス							
				三豊	観音寺						
月	件数	件数	時間	延べ人数		件数	活動 時間	活動 時間	活動 時間	件数	時間 (分)
10	54	62	599:20	335	295	443	447.0	78.0	10.0	119	1850
11	52	58	562:10	323	269	418	411.0	56.5	11.0	106	1470
12	55	59	587:55	303	239	448	434.0	75.5	10.0	90	1410
1	55	57	549:10	299	228	395	376.5	74.0	9.5	72	1260

以前、新聞にミス・ユニバース代表の写真が掲載されていました。写真を見ながら孫と「いい笑顔やね。見ている方も笑顔になるね。奥歯（大臼歯）まで見える笑顔はなかなかできないよ。さすがやねえ。」と話したものです。そして、二人で口角の上げ方をまねてみたりしました。

新人研修の時、毎回まず笑顔と身なりを整える事を伝えていきます。第一印象が大切ということもありますが、笑顔の自分自身も、気持ちが明るく軽やかに前向きになります。

その後、孫娘の小学校入学式の集合写真。父兄も児童もまじっている中、孫一人だけがニカッと笑っているではありませんか。あの時の練習のように…。

理事 汐見 美根子



新人紹介

昨年八月末から、にこにこ観音寺デイサービスで、配膳・食器の片付けのお手伝いとまごころサービスをさせてもらっています。

毎朝、八時半から十時半まで、パタンの仲間と練習し、和気あいあいと楽しんでいます。

新米のおばさんですが、どうぞよろしくお願い致します。

大西 昭江



趣味のちぎり絵
お雛様

まごころサービスでお世話になり五ヶ月になりました。先輩方のお言葉に助けられ、勉強させて頂いています。ありがとうございます。とても明るく良い雰囲気で、皆さん仕事をしています。

私はまだまだですが、自分が今まで知らなかった社会的面を学ばせて頂いています。これからも、よろしくお願い致します。

田村 久美子



私の好きな花 さざんか

つぶやき

《四国遍路がたり追加編》



《四国遍路がたり》の森岡です。

前号の四国お遍路香川篇で、記事は終了する予定だったのですが、執筆したら結願の八十八番札所へ大窪寺が、四国山脈の香川県側の山奥にある事を知りました。自分の車などで巡られている方は問題ないのですが、歩き遍路をされている方は、こんな人里離れた山奥でお遍路が終了となり、次にどこに向かわれるのか興味が湧きました。

大窪寺のお寺の前には、行き先は分かりませんが、バス停があるようなので、それに乗れば山奥からの脱出は可能でしょう。バスに乗るのをやめて、最後まで歩くというお遍路さんは、いったいどこに向かって歩くのでしょうか…。

この際、歩いて四国一周をしようと思い、一番札所の徳島県鳴門市にある〈霊山寺〉に向かわれる人もいるかもしれません。近い町は高松市か徳島市です。徒歩で向かうのはどちらもかなりきついと思います。

一度もおお遍路旅に出かけた事のない私が言うのは変ですが、バスを選びそのバスが終点についてから、次の事を考える事にします。

まさかそこからさらに山奥に入ることはないと思いますが、遠くから来ておられるお遍路さんたちは、どうやって四国を脱出するのでしょうか…？



香川県西讃昔話

銭形砂絵【寛永通宝】



観音寺市有明浜に描かれた砂絵のお話です。

銭形砂絵「寛永通宝」は、東西百二十二メートル、南北九十メートル、周囲三百四十五メートル、深さは二メートル以上もある巨大な砂絵で、琴弾山山頂から見ると、きれいな円形に見えます。

寛永通宝とは、日本の江戸時代を通じて広く流通した銭貨で、寛永十三年（一六三六年）に創鑄、幕末まで鑄造されました。

この銭形を見たものは健康で長生きでき、お金に不自由しないと伝えられています。近年銭形砂絵を見て、宝くじを購入した人が、高額当選した事から、金運スポットとして知られ、ライトアップもされているので、多くの観光客が訪れています。

テレビドラマ「銭形平次」のタイトルバックにも使われています。

銭形砂絵は讃岐国主の生駒高俊が、この地を巡視に来る事を聞いた人々が、歓迎の意を込めて、一夜にして創り上げたといわれています。生駒氏がこの地を訪れた寛永十年（一六三三年）には、まだ肝心の寛永通宝鑄造が始まっておらず、話に矛盾が生じます。一説には生駒氏の来訪時には、豊臣家の象徴である「ひょうたん」が創り上げられていたが、その後、生駒氏が職をとかれたため、幕府に従って現在の寛永通宝に変わったとされています。

また別の由来では、幕末期にこの浜に海防策として砲台を築いたが、巡視に訪れた讃岐国丸亀藩藩主の京極氏をもてなすために、普請奉行が命じて造らせたと言われています。

近世の幕藩体制下にあるにもかかわらず、造営の記録もなく、しかも二つの由来話が、約二百年もずれているというのも不思議な話であるが、とにかく殿様を楽しませるために、人々が造った物である事は間違いないようです。

現在も春秋の年二回、砂ざらえ（砂絵を美しく整える事）として、市民を中心に数百人で補修を行っています。

今の時代、運氣や金運が上がるといわれる色々な画像を、スマートフォンの待ち受けにしている人も多いと思います。この銭形砂絵も金運アップとも言われています。ぜひお試し下さい。





温泉巡り日記

趣味のなかった私に、職場の友より「日帰り温泉めぐりをしては？」とすすめられ、初めて源泉かけ流し温泉へ行くとしました。

四国の温泉巡りをしてみて、私の感想を皆さんにお伝えしていきたいと思います。(十鳥)

祖谷溪温泉

ケーブルカーを下降し、川沿いに温泉があります。お湯は三十六度と少々ぬるいくらいだが、有名所ということもあり、私以外は全て外国人でびっくり！

最近は大歩危小歩危が、外国人の観光名所となっており、特に紅葉シーズンは川下りの後、温泉に入って帰るとというのが流行りだとか…。



松尾川温泉

徳島県三好市へは車のナビを頼りに山奥へ行きました。崖の山道ですこい道のりでしたが、アルカリ性単純イオン泉で感動しました。効能として血圧を下げたり、炎症を抑えたり、美肌効果等があり温泉マニアの人達が多く来ていました。一人一人きれいに片付けをして、マナーも良く気持ちよく過ごせました。



松尾川温泉

徳島県三好市池田町松尾黒川 2-1

祖谷溪温泉

徳島県三好市西祖谷山村尾井ノ内
401 番地

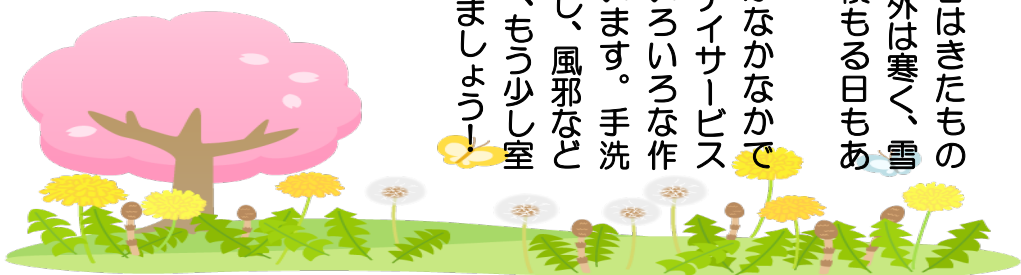


徳島県拡大マップ

デイサービス便り

暦の上で春はきたものの、まだまだ外は寒く、雪がうっすら積もる日もあります。

外出支援がなかなかできないため、デイサービスでは室内でいろいろな作業を行っています。手洗い・うがいをし、風邪などに気を付けて、もう少し室内で春を待ちましょうー



イベント三豊

ひな飾り

ひな祭りに向けて創作活動をしました。皆さん集中して、切ったり貼ったりと作業しています。

可愛い雛人形が出来上がり、作品を見ながら、笑顔をみせてくれました。

イベント観音寺

ジュース作り

収穫が遅れたみかんを、どうにか利用出来ないかと考えた所、果汁100%ジュースに生まれ変わりました。

添加物や甘味料の入っていない無添加ジュースの出来上がりです！

おやつ時間にみんなで頂きました。美味しかったと好評でした。



生きがい部

十月二十七日(日) ランチ

善通寺のOGUNへ行きました。県道から少し入った住宅地に、こじんまりとした白いおしゃれな建物です。窓からはテラスが見え、中庭では、ハーブを育てていました。

地産地消で素材の味を生かし、ソースもオリジナルで作られていました。どの料理も素材で優しいお味でした。また、機会があれば是非行きたいと思います。(小田)



十一月十日(日) 日帰り旅行

愛媛県大三島周辺に行きました。

色々なオブジェのあるところ「ミュージアム」に行き、昼食は鯛めし・海鮮丼等を美味しく頂きました。

おおよまづみじんじや

そして「大山祇神社」へ参拝に行き、天然記念物の

《大山祇神社クスノキ群》を見学し、大きさに圧倒されました。日本全国から集められた宝物殿では、鎧・兜・刀剣類が展示されていました。

最後に「大三島美術館」へ行き、作者の生い立ち等を知ることができました。

貴重な体験が出来た一日でした。(上原)



一月十八日(土) ディナー

多度津町のそらと食べるthreeへ行きました。お店が山の中腹にあり、古民家風のたたずまいで、夜だったため、お店が分からず通り過ぎる方もいました。駐車場から木の階段を降りると建物がありました。

店内はテーブル席となっており、落ちついた温かみのある空間でした。メニューはすき焼き、お蕎麦、天ぷらの順に出てきて、お腹いっぱいになり...

話も盛り上がり、あっという間のひと時でした。(森)





特定非営利活動法人

にこにこ三豊

☎767-0001

香川県三豊市高瀬町上高瀬 1 8 8 3 - 1

TEL 0875-73-6750

FAX 0875-73-6751

あとがき

二〇二五年、年が明けて二ヶ月が過ぎました。

今年の干支は巳（へび）

へびは脱皮を繰り返す事やその生命力の強さから『成長』や『長寿』を象徴するとされています。このことから巳年は未来へ向かう力強い一歩を踏み出す年と言われています。

情報誌部も新しいメンバーが加わり、また新たに成長できたらと思っています。

ご意見やご感想を、また職員にお知らせ頂ければ嬉しいです。

新しい年が皆さまにとって、健康で実りの多き一年になりますように…



上原・富田・石井・大林・藤田

ぶちふらわあさんの作品